

紅葉の便りがあちらこちらから聞こえてくる季節となりました。PTAから寄贈された創立65周年記念歌「海はともだち」を、もう口ずさみながら帰る子もいて、子どもの吸収力と曲の持つ力に驚かされます。早く、保護者の皆様にもお聞かせしたいと思っています。

学校へ行こう週間には、保護者や地域の皆様にたくさんおいでいただき、日頃の子どもの様子や頑張る姿を見ていただきました。受付ボランティアやマナーアップにもご協力いただき、子供たちも集中して学習に取り組むことができました。たくさんのご参加ありがとうございました。

歯磨き教室 保健委員会（5・6年児童） ～今度は、自分たちが先生！みんなに教えるよ～



保健委員会では昼休みを利用して、委員会活動の一つとして、校医の木村歯科医師から、正しい歯磨きの仕方の講習を受けました。習ったことを、今度は自分たちが各クラスに出向き伝えようと計画したからです。人に伝えるからには、正しい磨き方をしっかり自分のものにならなければなりません。みんな真剣です。熱心にメモを取り、アドバイス通りに歯ブラシを動かしていました。木村先生からは、「さすが保健委員さんですね。上手です！」と褒められていました。

見守りボランティア連絡会

10月17日（火）に、日頃より子どもたちの安全を見守ってくださっているボランティアの皆様による連絡会が開かれましたので、内容をお知らせします。

- 挨拶はよくできているが、道を広がって歩いている姿が見られる。
- 雨の日に、傘を持っていてもささずに歩いている子を複数見かける。「傘、ささないの。濡れると風邪をひくよ」と声をかけている。
- 放課後、道路でスケートボードやキックボードに乗っている姿を見かける。
ブレーキのない乗り物なので車や歩行者とぶつかって交通事故が起きないか心配。
⇒学校では、車の通る道路では乗らないように指導しています。



- 交差点で止まらずに走ってくる子がいて心配。でも、大人の自転車も止まって安全確認していない。

*子どもへの注意は、「学校はもちろんのこと、家庭でも繰り返し伝えていくことが大切である」という貴重なご意見をいただきました。子供たちを事故から守るために、家庭と学校の両面から粘り強く声をかけていくとともに、これをしたらどういうことが起こるか子ども達自身が考える姿勢を育てていくことも大切だと思います。合わせて、私たち大人も子ども達の良いお手本になれるよう努力したいですね。

1・2年生 サツマイモの収穫 ～りっぱなお芋がたくさんほれました！～

台風21号が去った10月24日（火）に1・2年生がサツマイモの収穫をしました。朝から地域のボランティア先生の亀山さんと、農協の富田さんが来てくださり、子ども達がすぐに芋ほりができるように、つるの始末をしてくださいました。生活科の学習で初めて芋ほりをする1年生は、しっかり軍手をして大張り切りです。土から芋が顔をのぞかせると掘る手にも力が入ります。次々と立派な芋を掘り出し、嬉しそうに見せ合っていました。

